

2018年11月9日

報道関係各位

中国に進出する企業に向けたシステム構築支援サービスを開始 サイバーセキュリティ法で定める中国国内でのデータ保管義務に対応

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、中国に進出する企業に対して、協力パートナーと連携した IT システムの構築支援サービスを本日から開始します。市場が拡大する越境 EC ニーズに対応した中国国内での Web サービスの開設とクラウド基盤の構築を含め、3年間で20社への提供を目指します。

中国国内でのスマートフォンの普及に伴い、国境を越えて中国向けに商品を販売する EC サイト「越境 EC サイト」の市場が拡大傾向にあります。しかし、2017年6月に施行された中国サイバーセキュリティ法では、中国国内で収集した個人情報や生成した業務データなどを中国政府の許可なく持ち出すことを禁じており、越境 EC を行うには中国国内でサービスサイトを構築する必要があります。

今回 CTC は、中国に進出する企業向けにパブリッククラウドを活用した中国国内でのシステム構築支援サービスを協力パートナーと連携して開始します。クラウドを使用した大規模なシステム構築で培ったノウハウをベースに、コンサルティングからクラウドを含めたシステム構築、アプリケーション開発、運用までトータルなサービスを提供します。協力パートナーとの連携では、中国での対応や中国語でのサポート、Web サイトや EC サイトの開設に必要な許可証「ICP 登録/ICP ライセンス」*1の申請や取得も含めてお客様をサポートします。

本サービスの開始に伴い、Alibaba Group のクラウドサービス「Alibaba Cloud*2」の取り扱いも開始します。仮想サーバに加え、ストレージやデータベース、負荷分散などの機能を含めて、システムの設計や構築、運用などのサービスを提供していきます。

CTC は今後、お客様と現地企業との連携サポートも視野にサービスを拡充し、企業の中国進出を支援していきます。

今回のプレスリリースにあたり、以下の協力パートナーからコメントをいただいています。

これはアリババクラウドにとって重要なパートナーシップです。アリババクラウドの技術と、CTCの業界ノウハウや日本でのサービス経験は素晴らしい協力体制を見せるでしょう。アリババクラウドは世界一流の技術を引き続き日本に提供し、CTCはアリババクラウドの技術を、日本の顧客に適したソリューションとサービスになるようローカライズしていきます。

アリババクラウドジャパン
カントリーマネジャー 宋子 暨(ソング ズジ)

クラウド環境の構築、運用において数多くの実績を持つ CTC が本サービスを開始することで、現地の日本企業へのシステムサポートがさらに充実すると共に、Alibaba Cloud が持つ最先端のテクノロジーが今後日本国内での展開につながっていくことを期待し、本協業に尽力して参ります。

SB クラウド株式会社
代表取締役社長 兼 CEO 内山 敏

Alibaba Cloud をはじめとしたさまざまなパブリッククラウドを用いてシステムを構築を行ってきた実績と、現在準備中の現地拠点メンバーによるサポートによって、CTC のサービスを通じた日本企業による中国事業展開に力添えいたします。

モビンギ株式会社
代表取締役社長 張 卓

- *1 ICP 登録/ICP ライセンス : Internet Content Provider の略称で、中国でインターネットサービスを提供する際に必要となる事前の登録申請(ICP 登録)とサービスを提供についての許認可(ICP ライセンス)のこと。
- *2 日本語の管理画面やサポート窓口、日本リージョンと中国リージョンを専用線で接続するネットワークサービスなど日本の顧客ニーズに合わせた Alibaba Cloud を SB クラウドが提供しています。

※記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp